

令和4年7月20日
東北森林管理局

令和4年度第1回東北森林管理局国有林材供給調整検討委員会の開催結果について

林野庁東北森林管理局では、需要急変時における国有林材の供給調整機能を発揮させるため、供給調整の必要性や調整を実施する際の方法等について、学識経験者、森林林業関係者、木材産業関係者から御意見をお伺いし、今後の国有林材の供給調整に役立てる取組を行っております。

この度、標記委員会を下記のとおり開催致しましたので、当局ホームページで概要等を公表致します。

記

- 1 日 時 令和4年6月16日（木） 14:00～16:00
- 2 開催場所 東北森林管理局 2階 大会議室
(秋田市中通五丁目9-16)
- 3 検討結果 現状は、スギ原木は合板工場や製材工場において概ね一定量以上の原木在庫が確保されており、総じて入荷が消費を上回る状況にある。製材品については需要の落ち込みや価格の弱気配が見られ始め、一部製品では欧州材の供給不安から仮需があったものの実需が動かない状況であった。カラマツ原木はロシア産単板の輸入禁止措置による影響などから依然として需要に対する供給量が不足しており、引き合いの強い状況が続いている。また、ブランド材規格の原木については、5月の名古屋官材にて好調な売れ行きを見せ、高品質材を適所において活用する意味でも今後への期待が寄せられている。価格面においては、総じて原木価格が高値となっている中で、山元への利益還元にも期待がされている。
以上のことから、国有林には、スギについては立木価格や原木価格の下落につながることはないよう、木材の需給動向や市況を踏まえた供給に取り組むとともに、カラマツについては市場へ安定的かつ早期の供給を求める。また高品質ブランド材は高品質な原木が減少する中で市場へ安定的に供給することが重要なことから、しっかり取り組むよう併せて求める。



国民の森林・国有林

お問い合わせ先

林野庁 東北森林管理局 森林整備部 資源活用課

担当者：佐藤 勝

電話：018-836-2496（直通）

FAX：018-836-3594

林野庁